

2004年度(2004年1月1日から
2004年12月31日まで)事業計画書

1. 学術的会合

1-1. 年次大会・秋季大会

1-1-1. 第59回年次大会

会期: 3月27日(土)~30日(火)

会場: 九州大学箱崎キャンパス(福岡市東区箱崎)

1-1-2. 秋季大会

1-1-2-1. 素粒子論, 素粒子実験, 理論核物理, 実験核物理, 宇宙線

会期: 9月27日(月)~30日(木)

会場: 高知大学朝倉キャンパス(高知市曙町)

1-1-2-2. 上記以外の分野(主に物性関係)

会期: 9月12日(月)~15日(木)

会場: 青森大学(青森市幸畑)

1-2. 国際会議の主催・共催

1-2-1. 第14回超高速現象国際会議(共催)

(The Fourteenth International Conference on Ultrafast Phenomena)

主催: 第14回超高速国際会議組織委員会

会期: 7月25日(日)~30日(金)

場所: 朱鷺メッセ(新潟市)

本会代表運営委員: 小林孝嘉氏(東大理)

1-2-2. 第3回放射線教育に関する国際シンポジウム(ISRE 04)(共催)

(The Third International Symposium on Radiation Education)

主催: 特定非営利活動法人 放射線教育フォーラム

会期: 8月22日(日)~26日(木)

場所: ブリックホール(長崎市)

本会代表運営委員: 加藤和明氏(茨城県立医療大)

1-2-3. 第15回非弾性イオン表面衝突国際ワークショップ(共催)

(15th International Workshop on Inelastic Ion Surface Collisions)

主催: 応用物理学会

会期: 10月17日(日)~22日(金)

場所: 伊勢志摩ロイヤルホテル(三重県志摩郡磯部町)

本会代表運営委員: 越川孝範氏(大阪電通大)

1-3. その他の学術的会合

1-3-1. 科学セミナー

テーマ: アインシュタインと21世紀の物理学—2005年世界物理年へ向けて—

会期: 8月5日(木)~6日(金)

場所: 牛込筆筒区民ホール(東京都新宿区筆筒町15)

1-3-2. 公開講座(科研費補助金を受けて開催予定)

テーマ: 「ニュートリノ—この未知なるものとそれをとりまくもの—」

会期: 11月6日(土)

場所: 中央大学理工学部(東京都文京区)

なお, 他に大阪, 九州の各支部でも開催を予定。

1-3-3. 支部例会等

北海道, 東北, 新潟, 名古屋, 北陸, 京都, 大阪, 中国, 四国, 九州の各支部において適宜開催。

1-3-4. 国内会議, 国際会議等の共催・協賛・後援

他学協会等主催の国内会議, 国際会議等を理事会で審議のうえ共催・協賛・後援。

2. 刊行関係

2-1. 日本物理学会誌

第59巻1号~12号, 月刊. A4変形判, 毎号140ページ, 各19,000部発行。

なお, 年次大会・秋季大会のプログラムを3号および8号の別冊付録として発行する。

2-2. JOURNAL OF THE PHYSICAL SOCIETY OF JAPAN (JPSJ)

Vol. 73 No. 1~13 (No. 13はVolume Index), 月刊. A4判, 毎号352ページ (No.13は130ページ予定), 各1,550部発行。なお, 刊行業務はIPAPが実施。本会は740部引取。

なお, JPSJの改革として, 9月から有給の専任編集委員長を委嘱する。(4月から8月の間は編集顧問として委嘱)

2-3. JPSJ全文オンライン化

Vol. 1 (1946) ~バックナンバー未公開分をオンライン化する。(IPAP扱い)

またインターネットを通じて提供する。

2-4. その他

下記の研究資料等を発行し会員等の希望者に有料または無料で頒布する。

2-4-1. 講演概要集

年次大会・秋季大会の講演概要集各4分冊

2-4-2. 物理学論文選集

提案を慎重に審査して適切であれば出版

2-4-3. 科学セミナーテキスト

2004年度に開催する科学セミナーのテキスト

2-4-4. JPSJ CD版

2003年分を作製予定(IPAP扱い)

2-4-5. JPSJ Vol. 73 (2004) Supplement

少なくとも1点を予定(IPAP扱い)

2-4-6. 大学の物理教育

3月, 7月, 11月の年3回発行

2-4-7. 公開講座テキスト(無料)

2004年度に開催する公開講座のテキスト

2-4-8. 会員名簿

10月を目標に刊行予定

3. 国際交流・協力関係

3-1. オーストラリア・ヨーロッパ・ドイツ・韓国・メキシコ・ポーランド・アメリカ・イギリス物理学会, その他の諸団体との交流・協力

3-2. AAPS(アジア太平洋物理学会連合)への参加・支援

3-3. AAPS Bulletin 刊行への援助

3-4. ASPEN (Asian Physics Education Network) への協力

3-5. 開発途上国へのJPSJ別刷代援助およびJPSJ等の寄贈

3-6. IUPAP(International Union of Pure and Applied Physics) への支援

3-7. UNESCO PAC(Physics Action Council) への協力

3-8. APS(The American Physical Society) の Council Meeting への代表派遣

3-9. APPC(アジア太平洋物理学会議)への参加・協力

3-10. Women in Physics(ブラジルで開催予定)への参加・協力

4. 図書・雑誌の供覧および物理学史資料の利用

本会所蔵の図書・雑誌を会員の利用に供する。また本会所蔵の物理学史資料の利用希望に応じる。

5. 日本物理学会論文賞

JPSJおよびPROGRESS掲載論文の中から5篇以内を選び表彰する。

6. その他

6-1. 2005世界物理年について

具体案を作成して, 順次, 実行する。

6-2. 物理オリンピックについて

応用物理学会, 日本物理教育学会, 本会の三者検討会を引き続き開催して検討する。

6-3. 理事会で適当と認められた事業

各種特別委員会等での検討をもとに理事会で承認した事業等。

なお, 上記のほか次の欧文誌を共同で発行する。

6-4. PROGRESS OF THEORETICAL PHYSICS (PROGRESS)

本会との共同で理論物理学刊行会から発行。

Vol. 111 No. 1~6, Vol. 112 No. 1~6, 月刊

B5判, 毎号200ページ, 各1,050部発行

その他, Supplement 数冊を発行予定。